

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 露地野菜、施設野菜が主体の中山間農業地域
- 農業従事者の高齢化や後継者不足による農家数の減少が進んでおり、担い手の育成・確保が急務

【支援内容・背景】

- 雲仙市では、JAや島原振興局などの支援機関と連携し、定期的に協議の場(年間約10回)を設け、地域の担い手育成・確保を推進。
- 助成対象者は地区内でネギの大規模露地栽培を行い、併せて地区の認定農業者会の会長を務める者。今後はさらなる所得向上のため、経営の効率化を目指しており、その取組を地区全体の経営力強化に資する普及モデルとして育成・支援。



助成対象者「栗原 光博」氏の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成16年 1.8haネギ栽培開始
- 令和2年 集出荷貯蔵施設建設
- 令和3年 フィルム包装機導入
- 令和3年 ノウフクJAS認証
- 令和5年 経営改善計画書の認定
- 令和5年 法人化(株栗原ねぎ)し、「葱匠」をオリジナルブランド化
- 令和6年 農林水産省・環境負荷低減の「見える化」三ツ星取得

《事業活用の背景》

- 付加価値が高いオリジナルブランド「葱匠」は需要が高まっているものの、肥培管理等に手間を要するため、更なる規模拡大のためには作業の効率化が必要。
- 本事業を活用し作業の効率化に資する高性能なネギ収穫機を導入。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

- 売上高 82百万円
- ねぎ栽培面積 7.5ha
- 雇用 常勤 9名
(非常勤 0名)

《事業による整備内容》

- ネギ収穫機 8ps 1台
- 事業費 3,894千円
(国費 1,062千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 97百万円 (118%)
- ねぎ栽培面積 11ha (146%)
- 雇用 常勤 15名 (166%)
(非常勤 3名)

事業の
効果

《対象者》 ネギの作付面積の拡大、高品質なネギの栽培が可能となり、売上高、雇用の増加が実現。

《地区》 収穫機を導入した助成対象者を経営モデルとし、地域集落内でネギの作付面積が拡大。

令和5年から初めて全国ねぎサミットに参加するなど、地域の産地化(ブランド化)意識を醸成。